

町報

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷 K.K

No. 123

7月救急病院

7月2日	県立吉田病院	昼3-3131	夜3-3132
7月9日	町立巻病院	昼2-3111	夜2-3115
7月16日	県立吉田病院	昼3-3131	夜3-3132
7月23日	町立巻病院	昼2-3111	夜2-3115
7月30日	巻町桑原医院	2-2221	



岩室消防分署庁舎完成

署員十一名常駐

岩室村役場脇にこのほど消防新分署庁舎が完成し、人員・全業務が移転し名実とも南部消防署岩室分署となりました。

分署完成まで署員は役場二階図書室に間借りし不都合な業務提携をしておりましたが、この度完成により快適な業務提携で成績向上をはかっております。

完成した建物は鉄骨構造平屋建て

で広さは百六十八・二五平方メートル（五〇・四七坪）総予算七百十万円が進められた。

分署長以下十一名の署員は自動車ポンプ車二台で分署発足以来、機械器具点検・ポンプ操作訓練・管内道路及び水路の視察・吉田本署との合同訓練など岩室分署は連日忙しい毎日を送っており、火災・水害・救急等発生の場合村民より御協力を願っています。

（完成した消防庁舎と消防隊）

第五回村民運動会

金のアイデア公募について

今年の村民運動会は来月八月十六日（水）岩室グラウンドに舉行されることとなり、去る六月十五日の六月定期村民運動会の全員協議で決定されました。

村民運動会は村民総参加による、年一回の村民の祭典です。皆様の御協力により今年も成功させたいと思っております。

イメージ化の印象を一手括するために、今年も早

「村民運動会は八月十六日（水）に」!!

記

（一）募金内容
進行裝飾など行事全般にわたり改正すべき点
（二）イメージに富んだ競技種目
以上につき、内容を簡

このようにして農家から単に解説をつけることに。

岩室村公民館（郵送可）
七月八日（当日附の消印は有効）

（四）審査員
別に定める
採択されたものに対し粗品をおくりませう。

納入していただいた共済掛金は、このほかに国が負担する共済掛金の一部が交付されるので、これと併せて村に備蓄され被害を受けた農家の共済金支払に充てられます。共済金を支払った後の残額は、決算で剰余金として各種の積立金に積立られ、共済金の支払に不足を生じた場合、あるいは無被害農家が支払う無事戻金の財源に充てることとなります。

事務費賦課金も掛金といっしょに納入願うことになりませんが、事業運営経費の一部として共済事業運営協議会及び村議会を経て、前年同額の十アル当り六〇円に決定されましたが、加入者割は賦課されませんが、加入者の水稲共済掛金と事務費賦課金は、来る七月中旬に部落区長、農区長さんを通じて納入依頼書をお届けするべく予定していますので、よろしく御協力下さるようお願いいたします。

◎無事戻金の支払
無被害農家に支払われている四十七年度の支払対象は四十四年度・四十六年度の三年間となります。支払総額は六六四万円、支払戸数六五〇戸となります。支払方法は昨年同様共済掛金から無事戻金額を差引き支払としますのでお含みおき下さい。

共済事業についてお気付の点があれば岩室村役場農政課へ御連絡下さい。

農業共済

昭和47年度
水稲共済掛金事務費
賦課金きまる

◎水稲共済掛金の基礎となつて農家の皆さんの負担となる単位当り共済金額及び基なる共済掛金は次のように準取極量は、共済事業運営協議会が補償の充実をはかるためキログラム当り八〇円とすることにし、去る三月の村議会で議決されました。基準取極量は損害評価会で、県の指示取量、本村の生産量、その他統計資料により換計の結果、十アル当り五六〇キログラムと決定されました。これによ

560kg	792kg	80円	31,360円	0.5904%	185円
量合量	額	額率	担金	（46年度と同じ）	
収割取	金	率	金		
準受取	当	共	共		
基引	引	掛	農		

このようにして農家から単に解説をつけることに。

岩室村公民館（郵送可）
七月八日（当日附の消印は有効）